

東陽町 石橋検定(3年生)



学校 年 組 名前

I 正しいと思った番号を □ に書きましょう。

問 1	種山石工の始祖。元は長崎の武士で、オランダ人から円周率を 学び、肥後の種山村に移り住んだ人は誰でしょう。 ① 藤原 林七 ② 岩永 三五郎 ③ 橋本 勘五郎	答え □ 1
問 2	八代市鏡町の出身です。通潤橋の手本となった砥用町の雄亀滝 橋や鹿児島島の甲突川五石橋を架けた石工頭領として有名です。 ① 藤原 林七 ② 岩永 三五郎 ③ 橋本 勘五郎	答え □ 2
問 3	種山石工の祖・林七の孫です。通潤橋をはじめ、明治6年に政 府から招かれ皇居旧二重橋、日本橋、浅草橋などを造りました。 ① 藤原 林七 ② 岩永 三五郎 ③ 橋本 勘五郎	答え □ 3
問 4	明治2年に架けられた東陽町を代表する最も大きな石橋です。 橋の周辺に町の棚田をイメージした公園があります。 ① 鹿路橋 ② 笠松橋 ③ 谷川橋	答え □ 2
問 5	東陽町には、たくさんの石橋が架けられています。その数は、 全部でいくつでしょうか。 ① 11こ ② 21こ ③ 31こ	答え □ 2

II 正しかったら○ まちがっていたら×を書きましよう。

問 6	その昔、白髪岳の天神様が、道をふさいだ大岩を蹴り破って出 来たという伝説が残っている天然の石橋は、平山天然石橋です。	×
問 7	町のシンボルゾーンである石橋公園内に移築された石橋の名前 は、重見橋です。	○
問 8	石匠館そばの橋本勘五郎生家の近くには、今も鍛冶屋上橋、 鍛冶屋中橋、鍛冶屋自然石橋、鍛冶屋下橋が残っています。	×
問 9	川俣地区にある美生川には、上流から美生橋、蓼原橋、鶴下村 中橋、山口橋、谷川橋の5つの石橋があります。	×

III ことばで 書きましよう。

問 10	石橋のアーチの内周を形造る石のことを輪石といいます。この輪石の 最頂部にある、最後に組み込まれる重要な石を何と呼ぶでしょう。 答え [要石]
---------	--



